

## 来訪者管理戦略における「望ましい富士登山の在り方」実現に向けた指標・水準の見直しの方向性について

## 来訪者管理戦略（2016年（平成28年）1月 ユネスコ世界遺産センターへ提出）

- 来訪者管理の目標として「望ましい富士登山の在り方」（①登山の文化的伝統の継承、②展望景観の維持、③登山の安全性・快適性の確保）を定義。
- 「望ましい富士登山の在り方」を実現するために、指標を設け（PLAN）、対策を実施し（DO）、2015年（平成27年）を起点として、概ね5年ごとに指標・対策の評価（CHECK）・見直し（ACTION）を実施。

## 指標・水準、対策の評価・見直しについて

来訪者管理戦略において、概ね5年ごとに指標・対策の評価・見直しを行い、来訪者管理の着実な前進・改善を図ると規定しており、**本年度が評価・見直しの時期となる。**

## 1 来訪者管理計画（抜粋）

来訪者管理戦略に示したPLANに該当するものとして、3年間の調査研究結果に基づき、指標・水準、対策等を示した**来訪者管理計画（実施計画）**を策定。

## (1) 指標・水準（抜粋）

①～③の項目ごとの代表的な指標を例示

詳細は別紙

望ましい富士登山の在り方	指標	水準
①登山の文化的伝統の継承	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	80%以上
②展望景観の維持	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	非調和的要素が予見又は発見されない
③登山の安全性・快適性の確保	夏山期間を通じて「著しい混雑が発生する登山者数/日」を超えた日数	吉田口3日以下
		富士宮口2日以下

## (2) 対策

登山者の平準化や安全確保のための情報提供等を中心に実施。

<b>①-1 山麓からの登山の推奨</b> [案内所等の運営 など] 	<b>①-2 山麓の構成資産の周遊促進</b> [体験ツアーの実施 など] 	<b>②-1 人工構造物の修景手法の検討</b> [落石防護壁の修景 など] 
<b>②-2 外来植物の侵入防止</b> [種子の防除マット・ブラシの設置 など] 	<b>③-1 安全誘導員等の配置</b> [登山者の誘導 など] 	<b>③-2 平準化に向けた情報提供</b> [混雑予想カレンダー周知 など] 

## 2 指標・水準の実績（暫定値）

一部の指標・水準については、維持又は改善が見られるが、未達成の指標・水準がある。（詳細は別紙）

望ましい富士登山の在り方	指標	2015	2016	2017	2018	2019 暫定
①登山の文化的伝統の継承	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%
②展望景観の維持	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	なし	なし	なし	なし	なし
③登山の安全性・快適性の確保	夏山期間を通じて「著しい混雑が発生する登山者数/日」を超えた日数	吉田口	4日	4日	5日	6日
		富士宮口	3日	2日	4日	—

\* 吉田口 4,000 人/日、富士宮口 2,000 人/日

## 3 指標・水準の評価・見直しの方向性

(1) 次期計画期間における指標・水準の設定

来訪者管理計画の策定後（指標・水準の設定後）、**取り組みが短期間（2年間）であり、未達成の項目もあるため、「指標」・「水準」について、見直しは行わず、「モニタリング」による検証を継続するとともに「対策」を強化する。**

(2) 当面の重点目標及び対策

引き続き、登山の安全性・快適性を確保する観点から、極めて限定的に発生している著しい混雑の解消を図ること（平準化）を当面の重点目標とする。

- ・混雑予想カレンダーの周知を強化（効果的な配布先の検討、英語以外の多言語化の検討）。
- ・効果的な「混雑情報等動画」を作成し、情報発信を強化。
  - ▷動画には、混雑情報に加えて、他の指標（文化的伝統等）の情報を掲載。
  - ▷世界遺産センターでの放映の検討やHP掲載、広報の工夫。
- ・「富士山世界遺産巡り」（2017年度版）の英語版の作成（2019年度予定）。

# 「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた指標・水準

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	現状					水準 2019年 の目標値	分析・評価(案)	対策(案)
視点	区分			2015	2016	2017	2018	2019 (暫定値)			
十七世紀以来の登山の文化的伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合には、途中の山小屋で宿泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	全体	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	80%以上	・計画期間を通して改善傾向。2018年に一度目標達成しているため、山小屋での休息につながる取り組みを強化する。	・登山ガイドの組合、旅行会社に弾丸登山の自粛や山小屋休息の推奨を強化 ・五合目施設等でのガイドンス強化
	特定された山麓の巡礼路・登山道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定されている吉田口登山道における山麓からの登山者の割合	吉田	11.9%	13.7%	12.4%	11.7%	9.3%	15%以上	・計画期間を通して横ばい傾向。伝統的な登山ルートならではの魅力が伝わるよう「山麓の神社・霊地等とのつながり」とともに啓発を強化していく必要がある。	・馬返からの伝統的な登山の神聖さを旅行会社等にPR。 ・中の茶屋(休憩所)のおもてなしを周知
	山麓の神社・霊地等と登山道とのつながりが認知・理解されていること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合	全体	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	50%以上	・計画期間を通して改善傾向。アンケート調査では、「以前から知っていた」32.2%、「今回の登山・訪問で知った」11.0%で、特に、後者の認知向上が必要である。	・山麓や五合目の施設での神社・湖の伝統的な巡拝のガイドンス強化。 ・文化的伝統の啓発を含んだ混雑等動画の広報。世界遺産巡り(アクセスガイド)日・英版の配布先の工夫
		富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合	全体	83.0%	88.2%	85.9%	82.2%	83.2%	90%以上	・計画期間を通して横ばい傾向。アンケート調査では、登山者数(混雑)に関わらず高数値で推移。登山前に景勝地の紹介や環境美化に関する取り組みが必要である。	・御庭、奥庭、御中道の散策の促進。 ・五合目の看板修景、展望園地の紹介。 ・飲食・ゴミのマナー啓蒙。
好な展望景観の維持	山小屋・防災関連の施設等の登山者のための施設が自然と調和していること	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	全体	なし	なし	なし	なし	集計中	非調和的要素が見えたり発見されたりしない	・目標を達成しており、現状維持が必要である。	・整備に当たり、施設設置者・機関との協議を継続し、景観影響の回避、軽減を図る。
	浸食・植生等の変化による展望景観への影響が抑制されていること	五合目以上における登山道の浸食や植生等の変化による展望景観の変化	全体	なし	なし	なし	なし	集計中	負の影響が見えたり確認されたりしない	・目標を達成しており、現状維持が必要である。	・下山道の巡視と維持管理 ・富士山レンジャー等による啓蒙活動を継続。
登山の安全性・快適性の確保	登山装備・登山マナー等が理解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合	全体	—	26.8%	19.6%	19.3%	22.4%	15%以下	・計画期間を通して横ばい傾向。数値は登山者数に応じ高くなる。日本人のほか、特に外国人登山者へのマナー啓発を重点的に行う必要がある。	・登山口におけるマナー啓発品の配布 ・富士山レンジャー等の巡視強化。 ・売店・山小屋の協力による注意喚起。
		人的要因による文化財き損届の件数	全体	1件	0件	2件	0件	集計中	0件	・目標を達成している年もあり、現状維持が必要。	・文化財パトロール等による巡視 ・マナーガイド等での周知
		吉田口から登山し、誤って須走口に下山した人の割合(須走口五合目ガイド対応分)	吉田須走	0.72% (981人)	0.48% (731人)	0.54% (928人)	0.92% (1389人)	0.62% (936人)	0.4%以下	・計画期間を通して横ばい傾向。目標値に達していない状況が続いているため、更なる対策が必要である。	・下山道分岐点で誘導員配置、音声ガイドの継続、ガイドンス強化
	過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること	山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合	全体	—	19.1%	19.3%	21.9%	21.4%	15%以下	・計画期間を通して横ばい傾向。アンケート調査では、不満な点に「山小屋」や「トイレ」との回答が多い。登山の「快適性」に大きく影響するため改善が必要。	・山小屋関係者と調査結果を共有 ・協力金によるトイレの改善
	夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数/日*を超えた日数	吉田	4日	4日	5日	6日	6日	3日以下	・計画期間を通してほぼ未達成。開山期間中の天候、連休取得が可能な曜日配列などの要因もあるが、「安全性・快適性」に影響するため改善が必要。	・混雑予想カレンダーの周知方法改善。 ・効果的な混雑動画の作成と世界遺産センター等での放映検討、HP・SNSで動画配信による日程等変更促進。	
		富士宮	3日	2日	4日	—※	3日	2日以下			

※指標・水準の選定基準 指標:「望ましい富士登山の在り方」の実現につながり、変化を容易に確認できること。 など

※2018年富士宮口:8/14以降のデータが欠損。8/13までに2,000人を超えた日はない。

水準:定量的な指標は、現状値から10%程度の改善を目指す。 など

登山者の平準化関連 実績・アンケート結果等

●吉田口における1日当たりの登山者数が4,000人を超えた日(2015年～)

区分	日数	登山者数(日・曜日)					
2015年	4日	4,022人(7/19(日))	4,252人(8/8(土))	4,099人(8/22(土))	4,729人(9/5(土))	-	-
2016年	4日	4,585人(7/30(土))	4,339人(8/6(土))	4,276人(8/12(金))	4,379人(9/3(土))	-	-
2017年	5日	4,033人(7/15(土))	4,066人(8/5(土))	4,544人(8/12(土))	4,471人(8/13(日))	4,105人(8/26(土))	-
2018年	6日	4,332人(7/14(土))	4,449人(7/15(日))	4,864人(8/4(土))	4,515人(8/12(日))	4,023人(8/13(月))	4,285人(8/18(土))
2019年	6日	4,538人(8/3(土))	4,133人(8/10(土))	5,033人(8/11(日))	4,686人(8/12(月))	4,070人(8/17(土))	4,008人(9/7(土))

●富士宮口における1日当たりの登山者数が2,000人を超えた日(2015年～)

区分	日数	登山者数(日・曜日)			
2015年	3日	2,105人(7/19(日))	2,099人(7/25(土))	2,249人(8/1(土))	-
2016年	2日	2,036人(8/6(土))	2,107人(8/13(土))	-	-
2017年	4日	2,166人(7/22(土))	2,290人(8/5(土))	2,656人(8/13(日))	2,026人(8/26(土))
2018年	-	-	-	-	-
2019年	3日	2,203人(8/3(土))	2,272人(8/11(日))	2,230人(8/12(月))	-

※2018年は8/14以降のデータが欠損。8/13までに2,000人を超えた日はない。

<参考>混雑カレンダーに関するアンケート結果  
(日本語)

※モバイルアンケート調査を実施。4登山道で下山時にアンケート告知カードを配布。結果は、登山時の登山口で集計。(登山時と下山時のルートが異なる場合がある。)

	回収数	調査日
H29	2,736人	7/16(日)、7/17(月)、7/26(水)、7/27(木)、8/5(土)、8/6(日)
H30	1,072人	7/15(日)、7/16(月)、7/25(水)、7/26(木)、8/11(土)、8/12(日)
R1	1,493人	7/24(水)、7/25(木)、8/3(土)、8/4(日)、8/11(日)、8/12(月・振休)

●混雑カレンダーの確認有無(%)

	吉田			御殿場			須走			富士宮			計		
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
見た	28.8	38.4	29.3	29.0	40.5	23.6	29.9	38.9	26.4	34.7	29.9	32.3	30.5	35.4	29.7
見ていない	71.2	61.6	70.7	71.0	59.5	76.4	70.1	61.1	73.6	65.3	70.1	67.7	69.5	64.6	70.3

●混雑カレンダーを見た媒体(カレンダーを見た人のみ)(%)

	吉田			御殿場			須走			富士宮			計		
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
公式サイト	67.9	86.3	92.9	75.0	88.2	91.2	76.7	89.7	100	70.1	89.2	90.6	70.6	87.9	92.3
チラシ	4.0	5.4	7.7	2.1	2.9	5.9	2.5	3.4	0.0	4.9	2.5	7.4	3.8	3.9	6.8
雑誌	5.6	16.7	1.8	2.1	11.8	5.9	4.2	12.1	0.0	2.9	14.2	3.0	4.2	14.8	2.5
その他	9.4	5.4	3.6	7.3	2.9	0.0	10.0	1.7	0.0	16.0	4.2	3.0	11.2	4.2	2.7

●登山予定の変更有無(カレンダーを見た人のみ)(%)

	吉田			御殿場			須走			富士宮			計		
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
した	13.6	22.6	10.7	14.6	2.9	14.7	15.1	20.7	20.5	13.1	19.2	15.8	13.8	19.5	14.2
していない	86.4	77.4	89.3	85.4	97.1	85.3	84.9	79.3	79.5	86.9	80.8	84.2	86.2	80.5	85.8

<参考>混雑カレンダーに関するアンケート結果  
(外国語)

	回収数	調査日
R1	584人	7/24(水)、7/25(木)、8/3(土)、8/4(日)、8/11(日)、8/12(月・振休)

※今年度吉田口、富士宮口で下山時に対面でアンケート調査を実施。結果は、登山時の登山口で集計。(登山時と下山時のルートが異なる場合がある。)

●混雑カレンダーの確認有無(%)

	吉田	御殿場	須走	富士宮	計
	R1	R1	R1	R1	R1
見た	17.9	30.0	13.0	33.5	24.6
見ていない	82.1	70.0	87.0	66.5	75.4

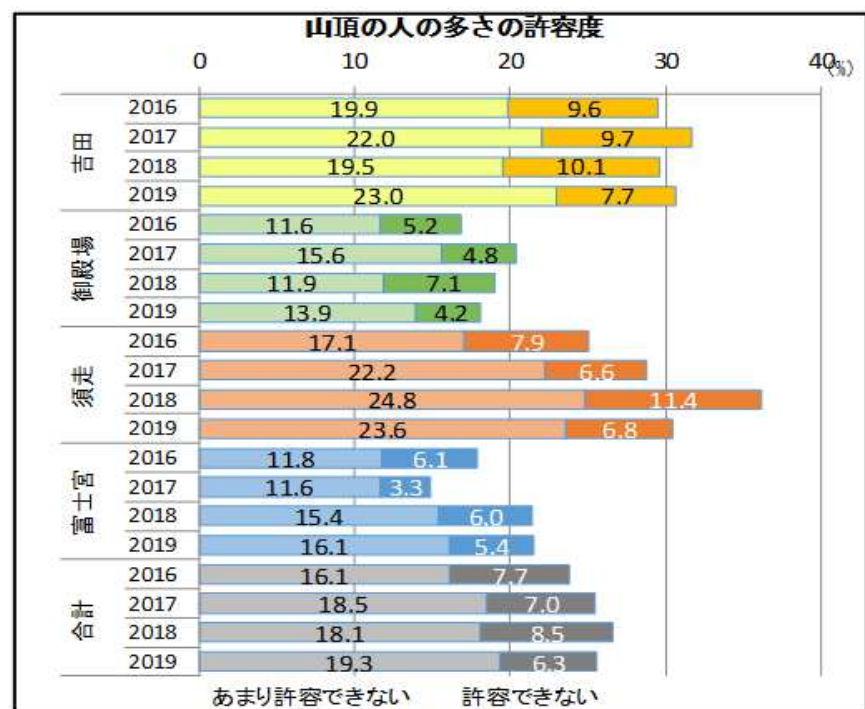
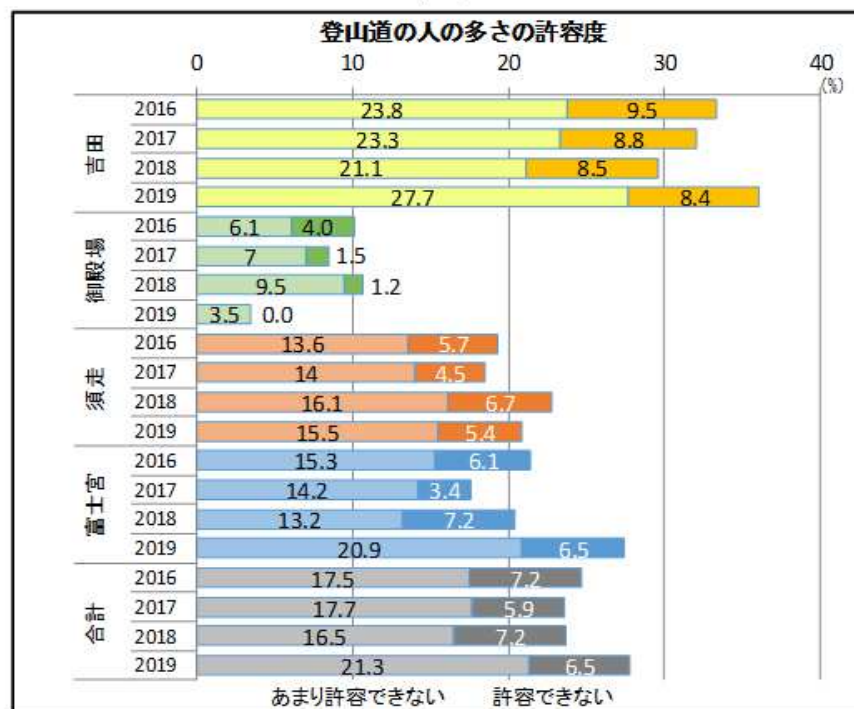
●混雑カレンダーを見た媒体(カレンダーを見た人のみ)(%)

	吉田	御殿場	須走	富士宮	計
	R1	R1	R1	R1	R1
オフィシャルサイト	77.6	83.3	66.7	69.3	72.9
チラシ	12.2	0.0	0.0	8.0	9.0
雑誌	6.1	0.0	0.0	8.0	6.8
その他	8.2	16.7	33.3	10.7	10.5

●登山予定の変更有無(カレンダーを見た人のみ)(%)

	吉田	御殿場	須走	富士宮	計
	R1	R1	R1	R1	R1
した	23.4	50.0	66.7	29.6	29.1
していない	76.6	50.0	33.3	70.4	70.9

●混雑への許容度の割合(%)



区分	区分	吉田				御殿場				須走				富士宮				合計			
		2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019
登山道	人の多さが許容できない	9.5	8.8	8.5	8.4	4.0	1.5	1.2	0.0	5.7	4.5	6.7	5.4	6.1	3.4	7.2	6.5	7.2	5.9	7.2	6.5
	あまり許容できない	23.8	23.3	21.1	27.7	6.1	7.0	9.5	3.5	13.6	14.0	16.1	15.5	15.3	14.2	13.2	20.9	17.5	17.7	16.5	21.3
山頂	人の多さが許容できない	9.6	9.7	10.1	7.7	5.2	4.8	7.1	4.2	7.9	6.6	11.4	6.8	6.1	3.3	6.0	5.4	7.7	7.0	8.5	6.3
	あまり許容できない	19.9	22.0	19.5	23.0	11.6	15.6	11.9	13.9	17.1	22.2	24.8	23.6	11.8	11.6	15.4	16.1	16.1	18.5	18.1	19.3